

平成 27 年 12 月 11 日に総務生活委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

● 庁舎内の配置換え及び各出張所の活用について ●

～内容～

- ・配置換えの目的 「こども」に関する部署を 1 か所に集約するため。あわせて、各出張所の有効活用を図るとともに、本庁舎 1 階が狭い状態を解消するため。
- ・配置換え案①
 - ①保健センターの 3 階にある教育委員会を西庁舎の 1 階へ移転
 - ②本庁舎 1 階のこども課を西庁舎 1 階へ移転
 - ③西庁舎 1 階の建設部を、全て西庁舎の 2 階へ移転
 - ④西庁舎 2 階の産業部を山手出張所へ移転
 - ⑤西庁舎 2 階の吉備路マラソン推進室を、保健センター 3 階へ移転
 - ⑥環境課を清音出張所に移し、環境水道部を 1 か所に集約
- ・配置換え案②
 - ①保健センターの 3 階にある教育委員会を西庁舎の 1 階へ移転
 - ②本庁舎 1 階のこども課を同じ西庁舎 1 階へ移転
 - ③西庁舎 2 階の商工観光課、そうじゃ吉備路マラソン推進室を山手出張所へ移転
 - ④西庁舎 1 階の建設部を、全て西庁舎の 2 階へ移転
 - ⑤環境課を清音出張所に移し、環境水道部を 1 か所に集約

※配置換え案②は、所管事務調査の中で、案①の代替案として当局から提案されたもの

～結果～

次のような質疑・自由討議の結果、総務生活委員会としては、案①、案②のいずれも了承せず、取りまとめとして「備中南森林組合総社支所、そうじゃ吉備路マラソン推進室、文化課文化財係が山手出張所に移転することを検討し、商工観光課など大きく市民に影響する部門は移動させるべきでない。環境課の跡地に、こども夢づくり課を移動することを検討してほしい。移動と予算を最小限にとどめること」とした。

～質疑～

問：配置換え費用の内訳はどうか。

答：経費は、パソコンや電話、電源関係などで 500 万円、カウンター、パーテーションなどの仕切りで 500 万円、西庁舎玄関のスロープ改修などに 1,000 万円で、合計 2,000 万円である。

問：今後、本庁舎を建て替えるという具体案があるのか。その際、庁舎が新しくなれば、各部署は本庁舎に戻すのか。

答：総合計画の中で、10年先には着工したい。本庁舎建て替え後には、各出張所へ配置している部署は、本庁舎に戻す。

問：文化財係など、市民と行政間との関わりが薄い部署を、山手出張所に移転する案はないか。

答：教育委員会として、課が4か所に分けると支障がある。

問：総合受付を設け、各部から職員が本庁に来て受付をすればよいのではないか。

答：その方式も検討したが、こども課、こども夢づくり課では、保健師等の専門職が書類等と照合して手続きするので、手続きがスムーズに行えない。

問：平成24年度以降で、本庁舎の改修などに掛かった経費はいくらか。

答：平成24年度から平成26年度までの改修、修繕などで約7,500万円である。

～自由討議での委員からの意見～

意見：観光部門が山手に来てほしいという声があり、観光部門だけを持っていくのは、まだ良い。商工労政は本庁に置いておくべきだ。ただし、基本的に市長部局は本庁にいるべきだ。

意見：こども課と、こども夢づくり課の連携はやらないといけない課題だ。山手の活性化も必要だ。ただし、市長部局を分解しないというのが絶対だ。

意見：環境課が清音出張所に移動し、抜けた後に、こども夢づくり課が来て、こども課とワンストップでやる努力をする。地下食堂も空くので、相談室やマイナンバー相談関係に使ってはどうか。

意見：市長部局を山手出張所に移すべきではない。影響が少ないところで、マラソン推進室と文化財係の移動は可能だ。